

校長室だより No 19

CS はみんなで創る学校

2025年 11月26日 柏市立富勢小学校 校長 梅津 健志

タイトルの「CS」とは、コミュニティ・スクールのことです。柏市は全校がCSになっており、富勢中学区は市内で最も早く設置されて、今年は7年目を迎えます。どうでしょうか？CSの良さやCSだからできることを実感しているでしょうか？

今年度はCSの機能を活かし、子供たちの学習や学校の支援活動を活発にするために、CSの機能として位置付けられている「地域学校協働活動本部」を立ち上げ、PTA本部の休眠という状況を補うように活動をしてきました。このことは、1学期の学校公開日の授業や、その後の教育ミニ集会の中で説明をしたままになっていましたが、2学期後半となり実感はいかがでしょうか。

しばらく休眠していた校長室だよりを復刊させて、次年度に向けた学校の取り組みや地域と一体となった取り組みなどについてお伝えしていきたいと思います。ご意見やご感想は今後実施する学校評価や教育ミニ集会等でお伝えいただいたり、様々な形で学校を創る視野で交流をしていきたいと考えております。今までの校長室だよりは未開封が100以上ありますので、前段はテキストで配信し、前段を含めた内容を添付ファイルで配信するようにして、多くの方に見てもらえるようにしたいと思います。

校長室だよりを通じて、次のことをお伝えしていく予定です。一つ目は、文部科学省が公募する「時数特例校」に柏市教育委員会が手を揚げ、本校もそこに加えてもらい、次期学習指導要領で求められているカリキュラム編成について、実践を通じて子供たちにより充実した学びの機会を提供しようとするについて。二つ目は、CSの機能を充実させ子供たちの学習活動を活性化し、保護者負担を軽減していくために、前述した地域学校協働活動本部の役割や機能について。三つ目は、今年度より開始した学年担任制・教科担任制の来年度に向けた方針について。四つ目は、次年度より実施する放課後子ども教室の拡大版であるアフタースクール事業について。以上の4点を中心に、情報提供を行い、意見交流等ができればよいと考えております。順不同で執筆してまいりますので、よろしくお願いいたします。

では、次号では文科省が公募する「時数特例校」に向けての情報提供をしてまいります。